

岡山県議会議員

# 太田正孝

県政だより  
VOL.9  
平成22年  
春号



たくましく  
やさしく

## Creative Life

ひとりひとりの生きがいと  
豊かな生活基盤を創るために。

編集責任者：太田正孝 岡山市北区延友455 TEL.(086)201-5523

### 子どもたちには 明るい未来を

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

市議会から県議会に替わりまして、感じるのは議会運営の在り方です。市議会は地域代表という側面が強いのですが、県議会では政党政治が行われています。したがって、県議会では国から出された方針についても多くの時間を費やして議論をしています。

その一つが、子ども手当です。国においては、新年度、子ども手当を支給するために約2兆3千億円、次の年は約5兆3千億円の財源を必要とします。このおカネは地方や事業主の負担があるものの、国が全て借金して給付するものと言っても過言ではありません。給付を受けた子どもたちが大きくなったら、今度は利息を付けて、返

済しなくてはなりません。

ところが、本県の本年1月の有効求人倍率は〇・五九倍で新卒者の方々は就職したくても就職できず、働く場がないのですから、今の子どもたちが大人になった時どうやって返すことができるのでしょうか？今のような進め方では借金に借金を積み上げるばかりです。やはり、学校を出たら、働く場があるという社会にしていかなければなりません。新卒者が社会の金の卵と言われる時代をつくることが今一番の課題ではないでしょうか。

子ども手当に限らず、国は、安定的な財源の裏付けがなく、政策効果も不透明なものを数多く掲げていますが、もっと緻密に政策を練り上げて、政治の舵取りをするべきと考えます。

太田 正孝

### 平成22年度予算は やはり厳しかった

## 全会計予算総額は 九五九〇億円、 対前年度九八、四%

行財政改革大綱二〇〇八に基づいて平成22年度も財政規律を重んじた予算編成とされていますが、それでも税収が前年度よりも一七・八%減の一八五〇億円ということ、県債を前年度よりも二・一%増の二二五三億円にして、何とかやり繰りをしているのが実情です。

歳出面での特長は、国の財源を活用して緊急雇用創出事業に六二億五千万円が充てられることになっていることです。

やはり、課題は岡山県単独事業で地域事情にあった事業ができるように、中長期的な視点に立った産業の育成を行うべきです。それは県当局が力を入れる次世代自動車（電気自動車）の開発や航空機産業の振興等であり、まだまだ他にもあるはずですが。

平成22年2月定例会議会一般質問から…

## 「教育は大切！」 質問をするに当たって、

三月四日、太田正孝は二月定例会議会一般質問に立ちました。

いま坂本竜馬を主人公にした大河ドラマが放映されていますが、江戸末期黒船来航の時、日本中騒乱となりました。お金も何もなくとも、愛国心と危機感を持った若者たちがこの国難に立ち臨みました。見事に国を救い、人づくりと教育に力を入れた結果、国を発展に導きました。

今の日本はどうでしょうか。あのバブルの時、あれだけおカネがあつたにもかかわらず、教育を疎かにし、十分考えずおカネを使ったため、その後日本は成長どころか衰退の道を歩みだしてしまい、今に至っています。今回は、教育を再建しなければとの一念で、教育問題に重点を置いて質問をしました。



太田県議

吉田松陰の言葉に考えさせられて

### 「教育をする上で

## 大切なものは？」

吉田松陰は松下村塾を主宰し、

ここから幕末維新に活躍した多数の志士を輩出しました。その松下村塾の孟子の講義の二回目で、「人間として生まれて人の道を知らず、士として生まれて士の道を知らないとしたならば、これ以上恥ずかしいことはない。この恥を知ったならば書を読み、人間としての道を学ぶことである。人としての道を知ったならば、これ以上に悦ばしいことはない」と述べ、さらに、

「諸君にとり学問は大事である。しかし学問をして学者になろうなどとは思わないで。学問をするに先立ち大切なものは志である。公に奉仕する人間の義務を自分自身の中に確立することである。公への義務を忘れた学は私利私欲となり、人をあやまる、と愛国心が絶対必要」と説いています。

今の教育でも、人の道を学んだり、愛国心を育んだりすることが大切なはずですが。そこで、教育長に単刀直入に教育をする上で一番大切なものは何であるとして、今教育をされているのかと教育長に質問をしました。

### 教育長

## 「教育は人と人との 信頼関係の上に成立」

教育は人と人との信頼関係の上に成り立つものであり、そうした関係の中で、子どもたち一人ひと



2月定例岡山県議会

から社会を生きていく上で生命や思いやりの心、責任感などは大切なことと考えているとの答弁が、知事からありました。

これからは教育の各論について論戦を展開しました。



太田県議

### 「幼児期からの良い生活習慣が大切」

りが、自分の夢や目標を持ち、その実現に向けて自らの力を存分に発揮しながら進んで欲しいと願っているとの答弁が、教育長から返ってきました。



太田県議

### 「岡山県教育の再生は？」

新おかやま夢づくりプランの中で、「教育とひとづくりの岡山」の創造を掲げている知事にも、岡山県の教育再生をさせるためには何が必要と考えているのかと、質問しました。

#### 知事

### 『教育再生には人材の育成が重要』

#### 育成が重要

岡山県教育再生には将来を担う人材の育成が何よりも重要であるとの考えから、これまでの教育施策に力を注いできた。また、これ

慣づくりの重要性を喚起するなど、幼児期教育の充実に向けて取り組んでいるとの答弁が、教育長からありました。

### 「各課題に対して、どう取り組むのか？」

二月定例県議会で論点になったのは「中学校で増加する暴力行為」でした。本会議場で、子どもたちの暴力行為を止めさせることができない学校現場の様子の報告もありましたが、こうしたことを見るに聞くにつけ心配は増すばかりです。

私は言い難い問題である「不登校」、「暴力行為」、「万引き」、「非行率」、「人工妊娠中絶」の五つの課題を取り上げて、中学教育の改善を求めました。

#### 課題1 不登校出現率が高い岡山県

平成二〇年度の全国の中学校の不登校出現率は二・八九％に対して本県は三・一一％と高い数値になっていて、高校ではその数値は全国よりも〇・八九ポイント高い二・四七％でありました。県教育委員会も不登校をなくすために事業展開をしています。問題は学校の中だけでなく、家庭、社会の中にもあります。大人が変わらな

ければいけないところも多くあります。私たち大人自身も考えなければいけない問題です。

#### 課題2 増加する暴力行為

平成二〇年度、全国の公立中学校において暴力行為が発生した学校の割合は学校内が四・二％、学校外が二・二％であるのに対して、本県では六六・七％、三〇・九％と大変高い数値になっています。その内容を見ると、対教師暴力二三一件、生徒間暴力五三八件と前年度よりも大幅に増加しています。

暴力はいかなる理由があっても許されません。暴力行為に毅然と立ち向かうことができる体制づくりが急務です。

#### 課題3 万引きが百十七人も増加

不良行為少年の年間補導人員は一時期よりは減少しているものの、平成二十一年では約一万六千人と、まだまだ高い水準にあります。

また、平成二十一年の中学生の万引きが、前年より百十七人多い五一八人に急増しています。万引きをした理由を訊くと、「お金を使うのがおしかった」というのが4割近くを占めているとのこと。善悪の判断が出来なくなっていると言わざるを得ません。こうした点からも道德教育の充

実は急がなければなりません。

#### 課題4 非行率は全国ワースト5

十歳から十九歳の少年人口千人当たりの検挙・補導人員を示す非行率は、平成二十年全国ワースト5の年間一・三人でした。岡山県では、新岡山夢づくりプランで、全国平均年間八・八人より若干高い年間九・〇人になると、目標設定しています。

#### 課題5 十代の人工妊娠中絶数は全体の約一割

十代の人工妊娠中絶数の多さには驚かされています。県の調査では、平成十九年度は四六一件と、全体の約一〇％を十代が占めています。この問題は深刻です。



太田県議

これら五つの課題に対して、どう取り組むのか質問しました。

#### 教育長

### 『教育長、誠心誠意で改善を図るとの答弁』

暴力行為をなくすために、警察OBなどの支援員の派遣により、生徒指導体制の強化を図りたいとの表明が教育長からありました。

また、その他の問題に対しても改善を図っていくとの誠心誠意の答弁がありました。



太田県議

### 「先生の不祥事は10件だが、問題が生じた学校は？」

平成二十一年度は教職員の不祥事が10件も起き、その都度校長会等の対策会議が行われてもなくならない。今議会の代表質問で教育長が陳謝されたのですが、県民の批判の声はまだ大きいのが実情です。平成二十一年度学校経営に助言を要するような問題が生じた学校は何校あったのでしょうかと、教育長に質問しました。

#### 教育長

### 『退職校長を四二校百十二回派遣』

学校経営や生徒指導等の助言を求める校長に対して、退職校長を平成二十一年度四二校百十二回派遣させたとの答弁が教育長からありました。

このように、OBの知恵や力を活用しているとのこと。深刻化する問題に対して、こうした支援がまだまだ必要なのが実情です。

### 教育力の向上について

### 学級は今の社会を映した鏡

現在の教育現場は以前に比べて、

- ① 躰のできていない児童の増加
- ② 学習意欲の差の拡大
- ③ 通常学級における発達障害児の増加
- ④ 通常学級での肢体不自由児の受け入れ

等が変わってきたと思われる。私たちが子どもの頃とは学級の様子が変わってきています。では、どうして変わってきたのでしょうか。考えますと、様々な理由が浮かび上がってきますが、私たち大人ができることは、私たち大人が姿勢を直すことです。子どもたちは大人の真似をして大きくなっています。学級は今の社会の鏡とも言えるのではないのでしょうか。大人が変われば、子どもも変わります。

#### 教育委員会の取り組み

### 『学級支援員の加配で精一杯の対応』

県教育委員会（以後は県教委で表記）としても、小1グッドスタート支援事業を導入し、基礎自治

体では発達障害児・肢体不自由児の支援のために、地域の方を支援員として配置し、よく頑張っています。ただどこまで頑張ることができるのか。限界を超えている場合も出てきているのではないのでしょうか。

その上で次の質問をしました。

#### 太田正孝の主張

### 増えた学級の課題を 県教委が率先して取り除こう



太田県議

発達障害児のいる通常学級で学級支援員が配置されていても、ベテランのキャリアのある先生でも学級を静かにさせることは難しくなっている今の教育現場の実情を私は教育長に訴えました。さらに、これまで教育長がこの県議会本会議場で「教員の指導力を高める研修の実施や学校全体で支援していく体制づくりが重要である」とご答弁されてきましたが、今の40人学級という規模で学級運営するに当り、「学力向上を図れ、躰をよくくしろ、障害を持つ児童も受け入れて」ということは、教育長のいう研修や学校の支援だけでは、一人の先生が抱えるには課題が多過ぎるのではないのでしょうか。やはり、課題が増えている学級ならば、増えた部分を何らかの方法で軽減させることが、トップの仕事ではないのでしょうかと、教育長に質問しました。



未来を担う子供達は「社会の宝」です。全身全霊を賭けて守り育てることが必要です。

#### 教育長

### 『国に新たな教職員定数改善計画の策定を提案』

今の通常学級における今日的な課題に対応した多様な教育が積極的に展開できるように、国に新たな教職員定数改善計画の策定を提案しているとの説明が返ってきました。



太田県議

### 『学力向上対策モデル事業の後は？』

いじめなど問題が起きれば、その都度新しい対策や計画を打ち上

げら、予算がつかず。しかしその予算規模は、県内で数校、モデル事業ができる程度のものであり、モデル事業が終わった後は問題が曖昧にそのままになっていることが多いように感じます。

本県の課題になっている学力向上の問題では、学力向上実践校の指定は僅か15中学校区のみ。また、新年度で予定している「教科指導の匠」活用事業は、課題がある学校に教員経験者10人しか派遣しない。また、学力向上支援スタッフ巡回事業は、「教科指導の匠」活用事業によく似ていて、この事業でも校長経験者5人しか派遣できない。合わせても15人です。この事業も規模が小さすぎて、問題を抱えている学校全てに対応ができないとの不安が先立ちます。また、それぞれの事業がバラバラに実施されている感がぬぐえません。こうしたことで効果的な取組ができていないのかと、教育長に質問しました。

#### 教育長

### 『各学校の教育活動を支援している』

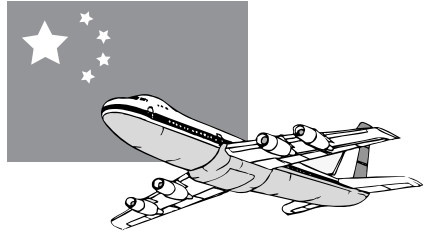
県教委は、各学校のそれぞれの教育課題に的確に対応するため、様々な事業展開をしており、各学校の教育活動の充実を支援していると教育長から答弁がありました。まずはこれからの効果に期待したいと思います。

●**県政報告会**は、二人でも三人でも、太田正孝の話が聞きたいという方がおられましたら、どこでも伺います。

●**地域行事・慶事・訃報等**がありましたら、是非ご連絡ください。

連絡先…太田正孝事務所 (TEL.086-201-5523) 月～金曜日 10:00～16:00

### 中国人観光客誘致促進事業 三十三万円にひびく



知事は新年度予算で中国人観光客誘致促進事業三十三万円を提案されました。そのなかで、医療観光ツアー商品化モデル事業として、県内の病院での人間ドックやPET検査の受診と観光を組み込んだツアーの商品化を促進していくことを打ち上げられました。

#### 事業実施の背景は…

- ① 中国では 中国では 中国人富裕層が健康に関心を持ち始めている
  - ② 中国にはまだ日本ほどの最新の医療が受診できる施設が少ないという社会的背景がうかがえます。一方、本県は
  - ① 医療の先進県である
  - ② 上海・岡山便、北京・大連・岡山便と中国との空路が充実している
- という二つの大きな優位性を持っています。双方の事情を鑑みますと、この事業は成功する可能性が相当に高いと考えることができます。

#### 克服しなければならぬ課題は…

一つは、言葉とシステムの問題です。受け入れる医療機関に中国語のできる医師がいるのかどうか。検診カードも中国語で作らなければなりません。治療を必要とする結果が出た場合、どこどのように治療するかというような、このシステムの未確立の部分に矢継ぎ早に頭を浮んでいきます。こうした課題を官民一体で解決していくということが必要で、官で出来ることは大いに支援をしていくべきです。

その上で次の質問をしました。

### 太田県議

#### 事業を成功に導くには？

言葉の問題、観光プランの問題などの課題があるが、県はどのような役割を果たして事業成功へ導こうとしているのか知事に質問しました。

#### 知事

#### ツアー企画の公募を実施して、民間の力を活用

モデル事業実施に当たっては、ツアー企画の公募を行った上で、中国人の嗜好にあった提案者を選定し、提案に基づきツアーを実施する。このモデル事業の成果を踏まえながら、本格的なツアーの実施につなげ、中国人観光客の誘致を促進していくとの答弁が知事からありました。

#### 地域医療の発展について



### 太田県議

知事は「岡山の強みは医療である」ということを繰り返し披露されている通り、今後岡山の医療の素晴らしさを世界に広めることは重要です。そのためにも、本県の地域医療をますます充実させていく必要があると考えますが、どのように対応されるのか、知事に質問しました。

#### 知事

#### 海外にも岡山の医療をアピールしていく

平成二十一年度策定した地域医療再生計画でも、医療情報ネットワークの整備や、医療介護ロボットを活用したモデル事業の実施など、先進的技術の導入に取り組んでいることとしている。今後ともこうした取組を通して、岡山県の医療の先進性をさらに高めるとともに、海外も含め、岡山の医療の素晴らしさを積極的にアピールすると答弁が、知事からありました。

### てくてくまさたか①

#### カンコースタジアム



三月十三日、桃太郎スタジアム改めカンコースタジアムになった県営陸上競技場にフアジャーノ岡山の応援に行きました。この日の対戦相手は三浦選手がいる強豪・横浜FC。一万人を超える観客でスタジアムは熱気で溢れかえりましたが、残念ながら0対1で苦杯。それでも後半はフアジャーノ岡山が攻める場面が多く、スタンドは大いに盛り上がりつつありました。

### てくてくまさたか③

#### かもがた町屋公園

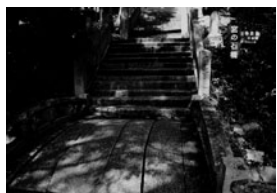


町家そうめんセット400円也

鴨方ICから南に車で3分ほど走ると、旧鴨方往來に出ます。この旧鴨方往來沿いを西に少し進むと、平成十年十月にオープンした「かもがた町屋公園」があります。HPに出てくる概要を紹介しますと、2棟の町家や倉、井戸などを修復し、伝統植物園や芝生広場などをあわせもつ歴史的景観を残す憩いの公園ということでした。一六八七年の修理棟札から築後三〇〇年以上を経た岡山県最古の貴重な町家で「岡山県重要文化財」にも指定されているそうです。



この中にある食堂で、町屋そうめんセット四百円を頂きました。そうめんの本場で味は最高、地域のご婦人のもてなしも良かったです。一度ご賞味されてはいかがでしょうか。



宮の石橋

### 吉備SA

#### てくてくまさたか②

過日、初めて吉備SAにあるETC専用入口から山陽道にのりました。ここから鴨方ICに行つたのですが、一宮付近で用事の後でしたので、



わざわざ岡山ICにまで戻らなくてもよく便利でした。また、吉備SAを通して出るため、給油や食事、トイレもスタート前に済ませることができました。これからも利用をしたいと思います。

#### 編集後記

二月定例県議会会で、自民党県議団が振り込め詐欺防止を目的にした条例を提案し可決しました。これまで県当局が提案した条例は数多くありましたが、あまり自画自賛すべきではないかもしれませんが、全国的にも議員発議

の条例はまだ少ないなか、画期的と言えます。これから議会をもっと活かし、県民生活を守り、地域の振興を図っていかなくてはいいけません。新しい県議会を創ることは県民からも期待されていることは申し上げるまでもないことですので(M・O)